

23水大第201号

23教保第259号

平成23年(2011年)11月11日

須坂市長 様  
須坂市教育委員会教育長 様

長野県知事  
長野県教育委員会教育長

空間放射線量測定結果について(通知)

このことについて、測定結果は下記のとおりです。

記

1 測定日 平成23年11月10日

2 測定結果

(1) 空間放射線量の把握のための測定

測定箇所	測定時刻	天候	測定結果( $\mu\text{Sv/h}$ )
須坂市役所 屋上	10:46	晴れ	0.07
須坂市役所駐車場 測定高さ 1m	10:56	晴れ	0.08
日野小学校校庭 測定高さ 地表	9:35	晴れ	0.10
日野小学校校庭 測定高さ 50cm	9:40	晴れ	0.10
日野小学校校庭 測定高さ 1m	9:45	晴れ	0.10

測定結果は健康に影響はありません。

(参考)

○長野市で実施している空間放射線量の常時監視における過去の平常値(平成18年4月から平成23年2月までの測定値)は $0.030\mu\text{Sv/h}$ から $0.097\mu\text{Sv/h}$ の範囲であり、今回の測定値はこの値と大きく異なるものではありませんでした。

○宇宙や大地からの放射線量は地域によって異なります。たとえばマグマが冷えて固まった花崗岩が多い地域では放射線量が高くなることが知られています。

○今回の測定値( $0.10\mu\text{Sv/h}$ )から、文部科学省が福島県に示した積算方法で試算した年間積算量は、 $0.53\text{mSv}$ となります。

国際放射線防護委員会の勧告では、平常時における自然放射線以外の公衆の被曝限度量は年間 $1\text{mSv}$ ( $1000\mu\text{Sv}$ )とされています。

(計算方法)

文部科学省が福島県の学校での対応基準を検討する際の年間積算量の計算方法(屋外8時間、屋内16時間、屋内での被曝量は屋外の40%)により計算をしました。

( $0.10 \mu \text{Sv/h} \times \text{屋外 8 時間} \times 365 \text{ 日}$ ) + ( $0.10 \mu \text{Sv/h} \times 40\% \times \text{屋内 16 時間} \times 365 \text{ 日}$ )  
 $= 526 \mu \text{Sv/年} = 0.53 \text{mSv/年}$

(2) 周辺より空間放射線量の高い可能性のある箇所の測定

測定場所	測定時刻	天候	測定結果 ( $\mu \text{Sv/h}$ )
須坂市役所 雨どい下等 地表	11:33	曇り	0.09
須坂市役所 雨どい下等 1m	11:28	曇り	0.10
須坂市役所 側溝 地表	11:08	曇り	0.18
須坂市役所 側溝 1m	11:03	曇り	0.11
須坂市役所 草地等 地表	11:16	曇り	0.08
須坂市役所 草地等 1m	11:22	曇り	0.08
日野小学校 雨どい下等 地表	9:58	曇り	0.08
日野小学校 雨どい下等 1m	9:53	曇り	0.08
日野小学校 側溝 地表	10:05	曇り	0.12
日野小学校 側溝 1m	10:10	曇り	0.09
日野小学校 草地等 地表	10:22	曇り	0.08
日野小学校 草地等 1m	10:16	曇り	0.07

除染等が必要な箇所はありません。

(参考)

長野県では、「周辺より空間放射線量の高い箇所への対応指針（平成23年10月28日付け環境部長通知）」のなかで、除染対策の目安とする「周辺より放射線量の高い箇所の基準」を「地表の空間放射線量が  $1 \mu \text{Sv/h}$  以上の箇所」としています。

### 3 測定方法

シンチレーションサーベイメーター (ALOKA TCS-172B) による簡易測定

(各箇所とも、30秒毎に5回読み取りを行い平均値を採用。)

水大気環境課  
 (課長) 丸山直樹 (担当) 斉藤昌明  
 電話 : 026-235-7177  
 FAX : 026-235-7366  
 E-Mail:mizutaiki@pref.nagano.lg.jp

教育委員会事務局保健厚生課  
 (課長) 松野賢衛 (担当) 大槻直樹  
 電話 : 026-235-7444  
 FAX : 026-234-5169  
 E-Mail:hokenko@pref.nagano.lg.jp